



在りし日の湯本さん

湯本克巳さんを偲んで

去る、平成26年1月6日、静商同窓会関東支部顧問 湯本克巳さんが、逝去されました。本会創立から初代支部長としてご尽力されてられました。本当に惜しい方を失いました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

湯本克巳さんを偲ぶ

天野 覚（S26年卒）

静商同窓会関東支部創設者で、顧問の湯本克巳さんがご逝去されたことを知り茫然とした。創設に関わった一人として、当時を思い出すままに記すことにした。

平成元年、当時私は第一勧業銀行から中原証券に出向中だった。ある日、新橋交差点で昭和26年卒業以来偶然再会したのが、故・鈴木俊彦君だった。彼は芝大門近くで、外国大使館の小荷物運送をしているスカイエース株式会社を経営していた。後日、静岡の叔父からたまたま入手した静商同窓会会員名簿を彼に渡した。その後彼は「関東地区の同窓会をやろうじゃないか。会長に相応しい人がいる。」と言う。その人が一年先輩の湯本克巳さんで中央区佃で紙類販売をしているマルミ屋株式会社の社長をしていた。湯本さんと三人で浜松町のレストランで会食をした。二回目の時、湯本さんが「同窓会は永続的なものにしたい。そのためにも資金を蓄積したい。」と言われた。我々も賛同して乾杯した。

翌年10月の同窓会を経て、平成3年7月6日に、静商同窓会関東支部創立総会を、東京築地スエヒロで、160名の参加者を得て開催した。湯本さんは支部長に就任した。

この間に幹事長の海野昭さんを推進役に、スタッフの努力もあって、現在の組織的活動の基盤が出来上がった。佃のマルミ屋事務所には、年に数回集まり議論したことが懐かしい。

湯本さんは、思いやりのある方で、役員の親睦のために、伊豆天城の一泊研修を実行されるなど物心ともにご支援いただいた。後年は夫人の介添えで総会に出席され、会の様子を見守られることが多くなった。たぶん、会の発展に満足だったのではないかと私は推察している。湯本さん本当にありがとうございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

湯本顧問の逝去を悼む

支部長 吉澤英夫

4月初め、湯本顧問の奥様よりご主人が1月6日に亡くなられたとの連絡を頂きました。今は安らかな眠りに付かれていることと思います。

ここ数年各会合に出席するのは難しい状況とお聞きし、お目にかかる機会はありませんでしたが、お変わりなくお過ごしのこととっておりますので、突然の報せは残念な気持ちで一杯です。謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

1990年故湯本克巳氏は献身的な努力で当関東支部を創立され、初代支部長として遺憾なくリーダーシップを発揮、佃にある会社事務所に初めて支部の事務局を設置頂きました。ここに会合で集まった役員は支部ができた喜びで熱気に溢れ、熱心な議論がなされていたと伺っています。

支部創立の数年後に病に倒られましたので、その後の支部の行く末を見ることやご自身の意思を十分伝えることが出来なかったことは、さぞかし無念の思いであったと思います。しかし創立20周年を迎えたこの3年間の支部総会に、本部来賓を含め200名を超す人々がお集まりいただき世代間を超えた交流がなされていることを思うと、創立者の種火は十分に受け継がれており、今後も脈々と受け継がれていくものと思います。私たち支部役員一同は創立時の熱き思いを忘れず、支部を維持発展していくことをお誓いし、追悼のご挨拶といたします。

（合掌）



新人ガンバ!



まだまだ若い



肩組み合って?



静岡からも

ご苦労さまでした。
退任された役員の方々。



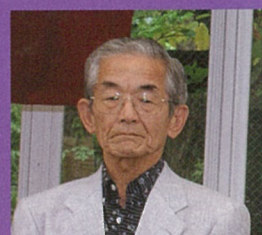
西島一二三前副支部長



宗野治義前支部長



織部忠義前会計監査



鈴木啓嗣前会計